

(一財)長崎県剣道連盟

広報誌 第49号

剣道だより (KENDO Nagasaki)



『ごんごと 芒種の水を 飲み干せり』……夏井いつき……芒種(ぼうしゅ) >

『ごんごと 芒種の水を 飲み干せり』ごんごと芒種の日の水を飲み干した。この句は「自分が飲み干した」解釈と、「何かが飲み干した」解釈の2つに分かれます。暑い日が続いているので水を一気に飲みした風景の他に、田畑など水を必要とする場所が飲み干すように水を吸収している風景が浮かんできます。

6月に入り雨の日が増え、じめじめした梅雨の気配を感じる頃となってきました。今年は6月5日から6月20日頃までの時期を24節気での「芒種」といいます。この頃にカマキリの卵から幼虫が孵化します。カマキリは農作物をあらさず、害虫を捕まえる益虫としての一面もあります。また穀物の種まきや麦の刈り取り、苗の植え付けなど忙しい時期です。

「芒(のぎ)」とは稲科の植物の穂先の棘状の突起部分で、鳥獣による害から種子を保護し、動物の毛や衣服に絡まり種子を拡散する役割があるとされています。

水無月(みなづき)

旧暦6月は田植えの季節。渴いた田んぼに水を入れる頃でもあり「水無月」「水月(みなづき)」「水張月(みずはりつき)」などと呼ばれました。梅雨明けで日照りが続く時期、稲が実を結ぶために重要な水を願う人々の思いが表れているのだと言われています。現在ではもっと早い時期に種がまかれますが、農業が活発になり梅雨に向けて雨雲も増えてくる時期です。



紫陽花(アジサイ)

報告(1)・令和7年度長崎県剣道連盟少年剣道基本強化錬成会(第1回目佐世保地区)報告

令和7年5月24日(土)長崎県立武道館において標記の錬成会が実施されました。

小学生を対象として、初心のこの年代の児童に対し正しい剣道の方 付けを行うとともに、剣道における礼儀・作法等の基本を徹底し指導する事によって、正しい剣道を身につけさせ、本県剣道の普及と強化を図り、剣道界や社会の発展に貢献できる人材を育成することを目的に実施されました。

今年度最初の錬成会も参加者の熱心な取り組みが見られる有意義な錬成会でした。

<講習会参加者> 小学生 4年生以上 52名 +(県剣連普及委員・強化委員・地元指導者・県剣連事務局)

| | | |
|----------------------|--------------------------|---------------------------|
| | | |
| <p>荒木純司普及委員による講義</p> | <p>梅田福一郎強化委員による素振り指導</p> | <p>梅田福一郎強化委員による基本稽古指導</p> |
| | | |
| <p>木刀による基本稽古法</p> | <p>ストレッチや準備運動も体験</p> | <p>道場の指導者も一緒に錬成会に参加</p> |

報告(2)・第77回令和7年度長崎県高等学校総合体育大会剣道競技

標記大会が令和7年5月31日(土)～6月2日(月)、諫早市小野体育館で開催されました。女子個人決勝戦では島原高校同士の対戦となり、川内優が児島和歩を破り、優勝を飾りました。男子個人決勝戦では長崎南山同士の戦いとなりました。長崎南山高校押瀨碧が檜橋謙秀を破り、優勝を飾りました。女子団体決勝は島原高校が長崎東高校を1-0激戦の末に破り4年連続18回目の県王座となりました。決勝戦では島原高校の北山凜桜が先鋒から副将まで互いに譲らず引き分けで迎えた大将戦で相手の攻めを誘ってメンを決め勝利しました。男子団体戦は春の全国選抜高校剣道大会優勝の島原高校が4年連続18回目の優勝をし、全国春夏連覇への挑戦権を獲得しました。決勝戦はライバル長崎南山高校に2-2の本数勝ち。先鋒林田がメンを決めて1本勝ちし、次鋒太田、中堅若林がメンを立て続けに取られ、副将の鈴木が引き分け。全国選抜県予選の決勝戦と同じ苦しい状況で大将の相原右京が1-2の状況からメンとコテの2本勝ちで逆転しての劇的な4連覇となりました。男子個人戦では長崎南山の押瀨碧が頂点に立ちました。準々決勝戦では相原右京(島原)と対戦し、延長戦の末にツキを決めて団体戦の借りを返しました。決勝戦は同じ長崎南山の檜橋謙秀との対戦となり、開始早々ドウとコテを奪取して優勝を決めました。女子個人戦の決勝戦では島原高校の川内優と児島和歩の対戦となり、お互いに手の内を知り尽くした対戦で川内優が長い延長戦の末に一瞬の隙を狙ってメンを決め優勝を飾りました。川内優は団体戦に出られなかった分を個人戦で奮起しました。

男女個人優勝者、準優勝者と団体優勝の島原高校男子と島原高校女子は長崎県代表として令和7年8月7日(木)～10日(日)広島県立総合体育館で開催される第72回全国高等学校総合体育大会剣道競技の筆頭として、全国大会制覇を目指します。

(高総体結果詳細は県連ホームページに掲載)

| | 優勝 | 2位 | 3位 | |
|------|-----------|------------|-----------|------------|
| 女子団体 | 島原高等学校 | 長崎東高等学校 | 長崎日大高等学 | 瓊浦高等学校 |
| 男子団体 | 島原高等学校 | 長崎南山高等学校 | 佐世保北高等学校 | 瓊浦高等学校 |
| 女子個人 | 川内 優(島原) | 児島和歩(島原) | 出口奈知(猶興館) | 酒井陽多(瓊浦) |
| 男子個人 | 押瀨碧(長崎南山) | 檜橋謙秀(長崎南山) | 安東愛季太(島原) | 田才温人(長崎南山) |



男子団体優勝(島原高校)



女子団体優勝(島原高校)



男子団体決勝戦
島原高校×長崎南山高校



男子個人戦 入賞者



女子個人戦 入賞者



女子団体決勝戦
島原高校×長崎東高校



長崎県高校総体
流石一抜一撮 魂込の大一番を

5月31日(土)～6月2日(月) 諫早市小野体育館

『剣道八段を拝受して』・・・剣道教士八段 畝本不可止

下半身の衰えをカバーする為に基本打ち・打ち込みの稽古



畝本不可止先生

1 稽古で心がけたこと

- 間合い・立ち上がりからすぐには間合いに入らず触刃から交刃そして一足一刀から足を継がず一挙動で打突 特に攻めは触刃(先皮が交わる間合)そこで攻め勝ち一足一刀(自分の先皮が相手の中結に触れるところまで)⇒打突
- 大きな発声触刃の間で攻め勝つ。
- 脱力(特に間合いに入ってから)
- 上の先生にかかる稽古
- 体力、特に下半身の衰えをカバーする為に稽古では必ず基本打ち・打ち込みを行った。
- いろいろなタイプの先生方に稽古をお願いした。(特に苦手な相手との稽古を進んで行った。)
- 打たれても良いから先をかけ打ち切る打突。
- 日本剣道形(一人稽古)

「理合を考えた攻めを心がける」・・・打突でところがけたこと

2 打突で心がけたこと

- 初太刀は面・小手に拘らず起こりを必ず取る。
- 理合いを考えた上下の攻め。

3 審査で心かけたこと

- 立ち合いはいろいろなことを考えず「平素の稽古を出し切るのみ」の気持ちで挑む。

「感謝」と「剣道の素晴らしさ」を地域剣道協会、後進の育成で貢献を続けたい

今回運よく合格することが出来ましたが、これからもなお一層努力・精進し少年剣道指導、後進の育成等微力ながら長崎県剣道界発展に寄与出来ればと思っております、これからも今までとおりが指導の程宜しくお願い申し上げます。

| | 剣道八段審査会(京都)合格者 2025年5月1日 京都市立体育館 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|---|--|----|----|----|----|--------|----|----|-------|----|----|-------|----|----|-------|----|----|-------|----|----|-------|----|----|-------|----|----|--------|----|-----|
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th>県名</th> <th>氏名</th> <th>年齢</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福島</td> <td>武藤 士津夫</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>茨城</td> <td>細島 洋一</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>東京</td> <td>中村 孝則</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>静岡</td> <td>増田 達弘</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>大阪</td> <td>安達 一武</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>兵庫</td> <td>堀 祐一郎</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>福岡</td> <td>畑江 秀彦</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>長崎</td> <td>畝本 不可止</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>鹿児島</td> <td>野間 亮二</td> <td>57</td> </tr> </tbody> </table> 以上、9名 | | 県名 | 氏名 | 年齢 | 福島 | 武藤 士津夫 | 67 | 茨城 | 細島 洋一 | 52 | 東京 | 中村 孝則 | 60 | 静岡 | 増田 達弘 | 66 | 大阪 | 安達 一武 | 68 | 兵庫 | 堀 祐一郎 | 59 | 福岡 | 畑江 秀彦 | 62 | 長崎 | 畝本 不可止 | 65 | 鹿児島 |
| 県名 | 氏名 | 年齢 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 福島 | 武藤 士津夫 | 67 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 茨城 | 細島 洋一 | 52 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 東京 | 中村 孝則 | 60 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 静岡 | 増田 達弘 | 66 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大阪 | 安達 一武 | 68 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 兵庫 | 堀 祐一郎 | 59 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 福岡 | 畑江 秀彦 | 62 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長崎 | 畝本 不可止 | 65 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鹿児島 | 野間 亮二 | 57 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教士八段 畝本不可止先生 | <参考> 1日目 受審者 892人 合格者 9人 合格率 1% | <参考> 2日目 受審者 934人 合格者 7人 合格率 0.7% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |